

学校沿革の概要

1. 学校名 高知県四万十市立中筋中学校
2. 所在地 高知県中村市有岡1008番地
3. 学校沿革の概要

昭和	22年	4月	1日	学制改革により幡多郡中筋村立中筋中学校を新設（3学級84名） 初代校長 遠近 清重氏着任
	23年	4月	1日	二代校長 野村 義晴氏着任
	25年	4月	1日	三代校長 大橋 清春氏着任
	29年	3月	31日	市町村合併により中村市立中筋中学校と改称
	32年	4月	1日	四代校長 西内 勝顕氏着任
	34年	2月	14日	新校舎落成
	34年	12月	20日	校庭拡張工事竣工
	35年	4月	1日	4学級となる
	36年	4月	1日	五代校長 大原 計男氏着任
	38年	9月	8日	台風9号により床上2.3m浸水、国庫災害補助により復旧
	39年	4月	1日	3学級となる
	39年	9月	18日	体育館落成、地元寄付50万円で内容を充実する
	41年	3月	15日	校歌制定
	41年	4月	1日	5学級となる（内特殊2学級） 六代校長 遠近 清重氏着任
	42年	4月	2日	技術科教室落成
	43年	4月	1日	七代校長 前田 勝氏着任
	44年	4月	1日	3学級となる
	45年	4月	1日	八代校長 岡村 重雄氏着任
	45年	6月		小学校と合同のプール落成
	47年	1月		運動場堤防落成（PTA奉仕作業）
	47年	4月	1日	九代校長 松田 松雄氏着任
	47年	7月	24日	台風9号により床上浸水1.2m、災害法により復旧
	48年	3月	14日	校舎前道路完成
	48年	6月	18日	浸水時の荷揚げ棚並びにピアノ吊り上げ装置完成
	50年	8月	17日	台風5号により床上68cm浸水、災害法により復旧
	51年	4月	1日	十代校長 示野 平氏着任
	52年	4月	1日	十一代校長 森 繁保氏着任
	54年	10月	1日	台風16号により被災、床上浸水43cm
	55年	4月	1日	十二代校長 安岡 良雄氏着任
	55年	8月	5日	台風10号により校庭冠水
	57年	4月	30日	校庭埋め立て2.5m並びに整地完了
	59年	4月	1日	特殊学級認可4学級となる
	59年	4月	1日	校庭南道路舗装完了
	60年	3月	5日	プレハブ校舎へ移転
	60年	4月	1日	十三代校長 高見 昭夫氏着任
	61年	3月	25日	現在の校舎新築落成
	62年	4月	1日	3学級となる（生徒数57名・教職員9名） 十四代校長 上田 明男氏着任
平成	1年	4月	1日	特殊学級認可4学級となる（生徒数70名・3学級）
	2年	4月	1日	十五代校長 大塚 巖氏着任（生徒数68名・3学級）
	3年	4月	1日	生徒数65名・3学級
	4年	2月	27日	屋内運動場増改築落成
	4年	4月	1日	3学級となる（生徒数63名・教職員10名） 十六代校長 森 宗壽氏着任
	4年	4月	16日	高知県社会福祉協議会指定の福祉推進校となる
	4年	11月	8日	校庭に夜間照明6基設置（バックネット、体育館正面階段、コンクリート壁完成）
	5年	3月	25日	体育館東側に小中併用の倉庫落成
	5年	4月	1日	生徒数57名・3学級 教職員11名
	5年	6月	7日	図書室窓に網戸取り付け
	5年	8月	10日	台風7号の被害甚大
平成	6年	1月	24日	学校林境界確認・山林状況視察
	6年	4月	1日	3学級となる（生徒数62名・教職員13名） 十七代校長 今城 康之氏着任
	6年	8月	25日	自転車置き場増設
	6年	9月	16日	鉄棒（屋外）新設
	8年	4月	1日	十八代校長 下村 耀子氏着任（生徒数64名・3学級）
	8年	4月	8日	特色ある教育課程推進校（選択教科）の研究推進校の県指定を受ける

	9年	4月	1日	生徒数52名・3学級
	10年	4月	1日	生徒数58名・3学級
	10年	4月	8日	文部省指定「道徳的実践活動推進地域校」となる（3年間）
	10年	11月	1日	学校林寄贈記念碑建立
	10年	12月	21日	体育館倉庫落成
	11年	4月	1日	生徒数57名・3学級
	12年	4月	1日	生徒数54名・3学級
	13年	1月	18日	文部省指定「道徳的実践活動推進地域校」自主発表
	13年	4月	1日	十九代校長 谷本 哲志氏着任（生徒数55名・3学級）
	13年	4月	8日	中村市教育研究所研究協力校となる（2年間）
	13年	8月	1日	パソコン室冷房設置
	14年	4月	1日	生徒数54名・3学級
	15年	4月	1日	二十代校長 中川 洋介氏着任（生徒数45名・3学級）
	16年	2月	23日	現在のプール落成
	16年	3月	10日	現在の駐輪場落成
	16年	4月	1日	生徒数38名・3学級 教職員12名
	17年	4月	1日	生徒数34名・3学級 教職員12名
	17年	4月	10日	市町村合併により四万十市立中筋中学校と改称
	18年	4月	1日	生徒数36名・3学級 教職員12名
	19年	4月	1日	3学級となる（生徒数34名 教職員数12名）
平成	20年	4月	1日	二十一代校長 伊与田 利実氏着任
	20年	4月	1日	3学級となる（生徒数30名 教職員数13名）
	20年	4月	8日	西部教育事務所研究協力校（家庭学習）となる
	21年	4月	1日	3学級となる（生徒数23名 教職員数12名）
	21年	9月	1日	部活動再編（陸上部・卓球部）
	22年	4月	1日	3学級となる（生徒数17名 教職員数12名）
	23年	4月	1日	3学級となる（生徒数17名 教職員数12名）
	24年	4月	1日	2学級編制となる（生徒数19名 教職員数 8名）
				二十二代校長 岡本 明美氏着任
	25年	4月	1日	3学級となる（生徒数24名 教職員数12名）
				高知県統計協会統計教育研究指定校
				四万十市研究推進校指定事業の中小連携研究推進校の指定を受ける
	26年	4月	1日	3学級となる（生徒数24名 教職員数12名）
				二十三代校長 松田 文雄氏着任
				四万十市研究推進校指定事業の中小連携研究推進校の指定を受ける
27年	4月	1日	3学級となる（生徒数17名 教職員数12名）	
			二十四代校長 下谷 達也氏着任	
			中山間地域小規模・複式教育研究指定事業の研究協力校の指定を受ける	
			四万十市研究推進校指定事業の小規模複式研究推進校の指定を受ける	
			四万十市社会福祉協議会福祉活動推進校の指定を受ける	
28年	4月	1日	2学級編制となる（生徒数14名 教職員数 7名）	
			小規模・複式校における未来づくり推進校事業の研究推進校の指定を受ける	
			四万十市研究推進校指定事業の小規模複式研究推進校の指定を受ける	
28年	4月	8日	四万十市内全中学校の給食開始	
28年	8月	30日	体育館暗幕修繕・交換	
29年	3月	28日	校舎南側通路に碎石搬入	
29年	4月	1日	2学級編制となる（生徒数16名 教職員数 8名）	
			小規模・複式校における未来づくり推進校事業の研究推進校の指定を受ける	
			四万十市研究推進校指定事業の小規模複式研究推進校の指定を受ける	
29年	6月	30日	図書室カーテンからブラインドに交換	
29年	7月	13日	校舎看板交換	
29年	7月	31日	ワークホールカーテン取替	
29年	11月	2日	第66回全国へき地教育研究大会高知大会分科会会場校として研究発表会の開催	
30年	4月	1日	3学級編制となる（生徒数14名 教職員数 10名）	
			二十五代校長 田辺 長美氏着任	
			四万十市新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善 保幼小中連携推進校の指定を受ける	
31年	4月	1日	3学級編制となる（生徒数19名 教職員数 11名<1名教育研究所勤務>）	
			四万十市新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善 保幼小中連携推進校の指定を受ける	
令和	2年	4月	1日	3学級編制となる（生徒数16名 教職員数 10名）
				二十六代校長 山脇 克仁氏着任
			四万十市新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善 保幼小中連携推進校の指定を受ける	